

# くにみ 議会だより

No.165  
6月議会号



## 夢を明るい未来へつなげよう

県北中学校に「夢先生」として元サッカー選手の波戸康広さんが来てくださいました。  
生徒たちも明るい笑顔で楽しみながら、夢を持つことの大切さを学びました。

### 6月定例会

### 新体制で新たにスタート

(議会組織構成決まる) P2

国民健康保険税条例の一部改正など(条例改正・制定) P4

県北中学校の外壁等を改修(平成27年度一般会計補正予算) P6

一般質問(スクールバスや歴史まちづくりなど7人が登壇) P9

町民のみなさんと意見交換(議会報告懇談会) P18

# 新体制で新たにスタート

## 議長に東海林一樹議員 副議長に志村良男議員

東海林一樹議長



のオープンを目指して工事が始まっている「道の駅」の運営内容や、この2月に国から認定を受けた「歴史まちづくり計画」の具体的な事業の内容など、町執行部と議論を交わすこととなります。町民の皆さまには新しくなった庁舎の議場で交わされる議論をぜひ傍聴においていただきますようお願いいたします。

志村良男副議長



この度、町議会一般議員選挙において7期目の当選をさせていただきました。町民各位のご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

去る6月23日の初議会において多数の議員のご支持により再度副議長の要職に就任させていただきました。

議会改選後の初議会は、6月23日から7月3日までの11日間の会期で開かれ、議長、副議長や常任委員会の委員などが決定しました。

また、国民健康保険税条例の改正や県北中学校の外壁を改修するための補正予算など24議案が提出され、すべて原案どおり承認、可決しました。

最終日には一般質問が行われ、7人の議員が登壇し町政を質しました。

6月23日に招集された議会定例会において第15代議長に選任され、就任いたしました。何とぞよろしくお願いいたします。

皆さまには、日頃より町政に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。東日本大震災で被災した役場庁舎も完成し、5月7日より新庁舎での業務を開始いたしました。復興はまだ道なかなばではございますが、議員一同が町と共に一丸となって取り組んでまいります。

町議会では、平成28年秋



# 議会組織構成決まる

6月23日に初議会を開催し、議長、副議長選挙や各常任委員会委員の選任などが行われ、議会の組織構成が決まりました。

## 総務文教常任委員会

委員長 松浦 常雄  
副委員長 浅野 富男  
委員 東海林一樹  
委員 八島 博正  
委員 佐藤 定男  
委員 松浦 和子



## 産業建設常任委員会

委員長 阿部 泰藏  
副委員長 渡辺 勝弘  
委員 志村 良男  
委員 村上 正勝  
委員 井砂 善榮  
委員 村上 一



## 広報常任委員会

(旧広報編集委員会を常任委員会に昇格し、総務文教・産業建設常任委員が兼任する。任期は6月19日より2年。)

委員長 渡辺 勝弘  
副委員長 佐藤 定男  
委員 浅野 富男  
委員 阿部 泰藏  
委員 松浦 常雄  
委員 村上 一

## 議会運営委員会

委員長 八島 博正  
副委員長 阿部 泰藏  
委員 浅野 富男  
委員 松浦 常雄  
委員 佐藤 定男

## 一部事務組合議会

- 公立藤田病院組合議会議員  
東海林一樹 志村 良男  
阿部 泰藏 松浦 常雄  
佐藤 定男 井砂 善榮
- 伊達地方衛生処理組合議会議員  
八島 博正 浅野 富男
- 伊達地方消防組合議会議員  
渡辺 勝弘 村上 正勝
- 福島地方水道用水供給企業団議会議員  
東海林一樹
- 議会選出町監査委員  
松浦 常雄



浅学非才の私であり、大変名誉なことであり、感激しているところであります。

「地方創生」というまちづくりに微力ではありますが、献身して参る所存です。特

に現在町は交流の場、道の駅の完成と事業の成功に向けて取り組んでおります。これから与えられた期間、町民のために町議会副議長としての責務を果たす決意であります。

副議長選任でお寄せいただき、ありがとうございました。職責中も継続させていただきます。さらにもご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

## 条例改正

# 国保税3年ぶりの増額

## 一人あたり約8・6%増で決定

### 国民健康保険税 条例

(要旨) 1人あたりの医療費の増加や国民健康保険税

の被保険者の減少、所得額の減少により、今年度の国民健康保険税額は3年ぶりに増額となった。被保険者の減少については、人口減少のほか被保険者の高齢化により、後期高齢者医療制度へ移行していることも要因となっている。

ことに向けて資産割が廃止され、より所得に応じた負担額となった。  
なお、退職者医療制度の新規対象者の受け入れが平成26年度で廃止され、平成27年度からは退職をしたらそのまま国民健康保険に入ることとなっている。

増額幅を軽減するため、前年度繰越金や基金の取り崩しなどを行い約2500万円を減税に充てたが、税負担額は前年度より1世帯あたり約8・5%（1か月あたり約1100円）増、1人あたり8・6%（1か月あたり約630円）増となった。

また、平成30年度に国保医療制度が県に統合される

※退職者医療制度  
会社を退職した方が、医療の必要が高まる時期に国民健康保険に移ることに、国民健康保険の財政負担や加入者の保険料負担が過重になることを回避するために創設された制度。

(全員賛成で可決)

1世帯及び1人あたりの税負担平均額  
(年額/円)

	1世帯あたり	1人あたり
27年度	175,850	96,415
26年度	162,130	88,762
増減額	13,720	7,653
増減率	8.5%	8.6%

※1世帯あたり月額約1,100円増  
※1人あたり月額約630円増

ふるさと納税の特例控除額を2割に引き上げ

### 町税条例

(要旨) ふるさと納税について、個人住民税などの特例控除額を1割から2割に拡充しワンストップ特例制度を新設して申告を簡素化するもの。

軽自動車税について、軽4輪車のグリーン化特例経過措置の導入、2輪車の税率引き上げ時期を平成28年4月1日に延長。

町たばこ税について、平成31年4月1日までに紙巻きたばこの特例税率を4段階で引き上げて、特例税率については廃止するもの。

(全員賛成で可決)

### ワンストップ特例制度

平成27年4月1日の税制改正により、ふるさと納税をする先が5自治体までは確定申告が不要となる制度。

## さらに税額を引き下げる方法はないのか

### 問

(浅野富男議員)

今年度国保税額軽減を図ったが、それでも税額が上がったとのことである。さらに税額を引き下げる方法はないのか。

### 保健福祉課長

昨年度は国保の財政に余裕があったので5600万円を充当し税額の軽減を図ることができたが、今年度は財政運営が大変厳しい状況でこれ以上の軽減は困難である。



健康体操で介護予防(くにみ元気まつり)

## 貝田団地の住宅を 3棟取り壊し

### 町営住宅条例

貝田団地の住宅を3棟取り壊したことにともない、管理戸数を5戸から2戸に変更するもの。

(全員賛成で可決)

## 原発避難者への 減免を延長

東日本大震災による被災者の国保税などを減免する条例

原発事故の避難者への減免のうち、状況がいまだ改善されていないことから国民健康保険税、介護保険料の減免を27年度分まで延長するもの。

(全員賛成で可決)

## 介護施設の居室 定員を変更

町指定地域密着型サービスの事業の基準を定める条例

介護福祉老人施設の居室の定員を、県の基準に合わせて「3人」から「4人以下」に改正するもの。

(全員賛成で可決)



保育所との交流ですます元気に  
(デイサービス)

## 条例制定

### 外部委託を民間団体 やNPOにも拡大

公の施設の指定管理  
者の指定手続きなど  
に関する条例

町ではデイサービスセンターについて個別条例において指定管理を行ってきた

が、今後道の駅やその他の公の施設で指定管理を進めていくため、基本条例として制定するもの。

(全員賛成で可決)

#### ※指定管理者制度

平成15年の地方自治法の改正により、公共的な団体に限られていた外部委託を、民間団体やNPOにも委託できるようにした制度。

## 福島県町村会議長会より感謝状



6月19日、福島県町村会議長会より、前議長  
の八島博正議員にこれまで議長会会長、副会長を  
務めたことに対して感謝状が贈られ、6月定例会  
の席上で伝達されました。

## 人

## 事

### 監査委員に 松浦常雄議員

任期満了により、議会選出の監査委員に松浦常雄議員が選出され、同意されました。任期は議員の任期と同じ4年間。



松浦常雄議員

### 人権擁護委員に 畑善徳氏、阿部 博氏を再任

人権擁護委員の任期満了による畑善徳氏(藤田)、阿部博氏(大木戸)の再任について、両氏を適任と認め推薦することを決定しました。

# 県北中学校の外壁等を改修

## 改修費用5217万円を計上

平成27年度補正予算のうち、一般会計(第1号)では、7853万円を増額し、予算総額113億853万円とすることを全員賛成で可決しました。  
 主な増額は、県北中学校の外壁の改修5217万円に  
 よるもので、その財源はおもに補助金や町債(借金)でま  
 かないます。



校庭から見た県北中学校

### 質 疑

#### 県北中学校外壁

#### 改修工事の範囲

#### 内容は

#### 問

(佐藤定男議員)

県北中学校の外壁改修工事で総額1億400万円ほど計上されているが、業者の選定や工期、外壁改修の範囲は。

#### 次長

工期は授業に差し支わりのないよう今年の夏休みから来年の8月の夏休みまでと考えている。改修範囲は校舎の全体となる。なお、業者についてはこれから入札を行って決定する。

改修工事は屋根も対象になるか

#### 改修工事は屋根も対象になるか

#### 対象になるか

#### 問

(渡辺勝弘議員)

美術室前の廊下で雨漏りがひどいと聞いたが、今回の改修工事は屋根も対象となるのか。

#### 次長

美術室のある1階の屋根の改修も併せて考えている。

### 平成27年度一般会計補正予算(第1号)のおもな内容

#### 【おもな事業】

・県北中学校外壁の改修	5217万円
・災害救助に関する貸付金の返済	900万円
・義経まつりなどまちづくり事業のための委託料	570万円
・ふるさとまつり事業のための補助金	300万円
・1000年のまち。これから100年のまちづくり事業のための補助金	100万円
・その他(国勢調査に関する委託料など)	766万円
計	7853万円

#### 【おもな財源】

・地方交付税	122万円
・国・県からの補助金	2016万円
・前年度からの繰越金	1105万円
・町債(県北中学校外壁改修のための借金)	3600万円
・その他(県の新規事業による助成金など)	1010万円
計	7853万円

### まちづくり事業に要する委託料大幅増の理由は

#### 問

(阿部泰藏議員)

ちづくり事業委託料570万円は、当初予算編成時点では計上できなかったのか。

#### 企画情報

県の新規事業の発表が今年3月に入ってからのもだったため、当初予算編成時点

では計上できず今回補正したものである。

#### 問

(阿部泰藏議員)

今回大幅に予算が増額されたのはなぜか。

#### 企画情報

県の事業「みらいを描く市町村等支援事業」の助成金を利用し、町民の元気を取り戻す事業、合併60周年の記念事業として義経まつりやふるさとまつりなどの事業費分の増額である。

ふるさとまつりなどの事業費分の増額である。

## 町長の行政報告

### ■東日本大震災からの早急な復旧・復興

- 住宅・宅地除染の除染完了戸数は、2,771戸（7月15日現在）。平成27年度実施分の約330戸についても既に発注され、仮置き場も藤田地内に1か所確保し、全体で11か所となった。道路除染については、221路線、約72.8kmを発注。
- ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、中学生が終了。6月末から国見小学校の児童、7月からは4歳児未満と保護者、幼稚園児や高校生を対象に検査を実施。一般希望者の検査を進める。
- ガラスバッジによる外部被ばく量の測定は、中学生以下と一般希望者を対象に8月から3か月間での実施を予定。
- 県北浄化センターの仮設汚泥乾燥施設では、6月1日から乾燥汚泥の飯館村への搬出が始まり、平成29年3月末までに全量搬出する予定。
- 役場新庁舎は、5月に開庁式と合併60周年記念式典を開催。
- 文化センターホールの復旧については、観覧席後部付近の支柱にゆがみと損傷があったものの、修復可能との調査結果があり、早期に復旧を進める。

### ■安全安心な町政の実現

- 空き家・空地対策では、検討委員会を設置し、空き家対策と空地の活用促進を図るため、計画づくりを行う予定。
- 町は平成27年6月1日午前0時をもって交通死亡事故ゼロ4000日を達成した。

### ■活力ある町政の実現

- 道の駅（交流の場）の整備にかかる造成工事を6月に開

始し、10月の完了に向けて進めている。施設の管理・運営をする「国見まちづくり株式会社」の登記が3月26日に完了。道の駅出荷組合については3月に設立総会を開催し、現在約230名の組合員が参加。「くにみ市場」は7月4日に初開催。12月までに計12回開催される。

- まちづくり推進事業では、本年は60周年記念事業として、9月20日に20回目の開催となる義経まつりを元気・活力事業のメイン事業としている。

### ■思いやりのある町政の実現

- 廃校利用では、旧大木戸小学校について文化財の展示資料室や収蔵施設として活用できるよう文化庁と協議中。
- くにみもたん広場は、5月22日現在で延べ入場者数6万人を突破。

### ■町の継続的な維持発展

- 「まち・人・しごと創生総合戦略」の策定については、6月に有識者会議を開催した。また、7月に地域経済の循環や消費喚起のためにプレミアム商品券を販売。
- 「国見町歴史まちづくり計画」は、下二重堀地区の整備について具体的な検討を進めるほか、パンフレット作成やPRに努めるとともに、歴史的建造物の調査などの取り組みを進める。
- クリーンアップ作戦は、地域の美化活動を再開するため、4年ぶりに7月5日に実施。
- 「国見学園コミュニティ・スクール委員会」は、5月20日に今年度第1回の委員会を開催し、意見交換を行った。

### 傍聴者からの

## 声

## 「住みやすくなったと言われるまちづくりを」

6月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさんの意見をいただきました。

- 議長・副議長選挙で白票1票、無効票2票だったのは非常に残念。町民の代表である方々なので意志をはっきりとしてほしい。（60代・女性）
- マイクの使い方が良くない人がいて良く聞き取れなかった。（80代・女性）
- 傍聴席の防護ガラスをもう少し高くすれば傍聴しやすい。（60代・女性）
- 傍聴席から議員の行動が良く見えない。町関係者と議員席を替えられないか。（60代・男性）
- 単なる給料取りにならず、まず町民第一の心を忘れず、本当に住みやすくなったと言われる町づくりをしてほしい。（60代・女性）
- 議場に時計を設け、国旗や町旗を掲げてはどうか。（60代・男性）
- 議会開会時間を9時または9時半にしてはどうか。（60代・男性）
- あまり町民は議会運営に興味を持たないのと感じた。（60代・女性）
- 内容をもっと調べてから質問してほしい。（70代・女性）
- 答弁者の言葉遣いが丁寧でわかりやすく良かった。このようにアンケートを取ったことも大変良いと思う。（70代・女性）
- 議員は積極的に弱い立場の町民に寄り添うことが大切だと思う。（70代・女性）
- 発言するまでの呼名と名乗りが国会の真似なのかどくて長い。（男性）

# 意見書

6月定例会では意見書2件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

## 「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、平成28年度以降も全額国費での支援を継続するよう要望するもの。

**可決**

## 地方財政の充実・強化を求める意見書

平成28年度の政府予算、地方財政の検討にあたり、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすよう求めるもの。

**可決**

# みなさんからの 陳情

6月定例会では陳情6件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による就学支援事業の継続を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 福島県教職員組合 伊達支部 支部長 酒井 克幸	<b>採択</b> (全員賛成)
「集団的自衛権」行使を具体化する「安全保障法案」に反対する意見書提出を求める陳情書	全日本年金者組合 福島県本部 伊達支部 支部長 菅野 顕光	<b>不採択</b> (採択に賛成1、 採択に反対10)
「平和安全法制整備法」「国際平和支援法」案の廃案を求める意見書についての陳情	新日本婦人の会 伊達支部 代表 堀江 ミヨ子	
「平和安全法制整備法」「国際平和支援法」案のすみやかな廃案を求める意見書についての陳情	憲法九条を守るだて女性の会 代表 若狭 百合子	
安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の廃案を求める意見書に関する陳情	原水爆禁止福島県協議会 代表理事 二階堂 次男	
<b>採択に賛成</b> 浅野 富男議員	<b>採択に反対</b> 八島 博正議員	
法案の内容は違憲であるとの見解もあり、町民の安心安全を守る地方公共団体の公益に関する事件として採択するべき。	国会で審議中の案件であり、国会での十分な審議を待たずに町議会で検討することは馴染まないため、不採択とするべき。	
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	自治労国見町職員労働組合 執行委員長 中條 伸喜	<b>採択</b> (全員賛成)

※議長は採決に参加しない。

～7人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



# 町政を問う

一般質問

## 6月定例会

議員	質問事項	ページ
佐藤 定男	児童数減少によるスクールバス運行の問題を解決せよ	10
井砂 善榮	東北本線の増発や運行時間調整を望む声への対応は	11
	光明寺地区のほ場整備はもう行わないのか	
阿部 泰藏	歴史を活かしたまちづくりを継承していくための取り組みは	12
松浦 常雄	道の駅の目玉となるような物品販売は	13
村上 正勝	県北流域下水道施設の汚泥流出可能性への対策は	14
	町の人口減少への対策は	
	観光促進への取り組みは	
渡辺 勝弘	生活環境の変化に対応できる保育を	15
	法改正で介護待機者が増えるのでは	
浅野 富男	一貫校教育を進めることでの影響は	16
	公共施設の除去土壌の処理方法は	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

# Q 児童数減少によるスクールバス 運行の問題を解決せよ

## A 安全確保を第一に慎重に検討していく



佐藤定男議員

2便で運行している。

**問** 各地区の集合同所は何か所あるのか。

**次教育** 集合同所は小坂3か所、森江野6か所、大木戸5か所、大枝4か所の計18か所となっている。

**問** これまでバスの運行ルートを変更したことはあるか。

**次教育** 平成27年3月、児童数の減少により変更している。

**問** 藤田地区で遠くから通学する

**教育長** スクールバスについては、国見小学校新設開校準備委員会で話し合われた結果に基づいて運行しているもの。藤田地区でやや遠距離の子どももいるが、現在は最初の約束での運行となっている。

児童についてバスを利用したいという要望があったと聞くが、どうなっているか。

### 教育長

因果関係はないとは言い切れないが、詳しい調査データはないので正確な結論を出すことは困難である。

**問** 大震災後、児童の運動能力の低下や、肥満傾向があるという調査報告があるが、バスによる通学との因果関係は。

**教育長** 今後児童数の減少傾向は避けられない問題である。スクールバスの集合同所を旧小学校にすればいろいろなお問題がすっきりするのでは。

**問** 今後児童数の減少傾向は避けられない問題である。

**次教育** 平成27年3月、児童数の減少により変更している。

**問** 藤田地区で遠くから通学する

**教育長** スクールバスの運行について、小学校新設開校準備委員会や保護者、各地区の代表者、学校関係者などによる検討委員会で決定した経緯がある。安全確保を第一に、通学時間や利便性など時間をかけて慎重に総合的に検討していく。



毎朝スクールバスで通学する子どもたち

# Q 東北本線の増発や運行時間調整を望む声への対応は

## A 町民の利便性をはかる観点で引き続き要望していく

### 問

東北本線列車の増発や運行時間の間隔の調整を望む声があるが、町としての対応は。

前後で多いとは言えない状況である。そのようなかでJR東日本から、「利用者も横ばいであり、増発は難しく利用状況に応じて編成していく」との回答だった。東北本線の果たす公共交通としての使命や町民の利便性をはかる観点から、引き続き

列車増発などの要望を列挙していきたい。

### 問

藤田駅前町の案内所旧跡などの案内立て看板が見づらいとの声があるが、塗り替えはできないか。

**町長** 町に藤田駅と貝田駅があり、交通の利便性が高いが、藤田駅の乗降客数は1日平均1400人は1日平均1400人

創生先行事業として看板や案内表示、パッケージなどを統一感のあるデザインにまとめることにしている。その成果をベースに案内看板などの整備についてブランドデザインの効果や

### 企画情報

全体的に色が抜けてきている状況は把握している。今年度、地方

必要性を含めて検討していく。

### 問

藤田駅前の町の駅前倉庫駐車場に公営駐車場の立て看板は設置できないか。

### 総務課長

町の保存文書倉庫と同様に駐車場も「行政財産」である。役場の業務に利用するのであり、公営駐車場の看板の設置は馴染まない。

「通勤・通学での使用はご遠慮願います」との看板は設置しているが、今までどおり藤田駅を利用する町民には開放していく。

### 問

国見インターチェンジ付近に大きな看板を設置して町を広く宣伝してはどうか。

### 企画情報

藤田駅前の案内立て看板同様、整備に向けて検討していく。

## 光明寺地区のほ場整備はもう行わないのか

### 問

光明寺地区の県営ほ場整備推進事業参画について、地区の受益者へもう一度歩踏み込んで説明会な

### 産業振興課長

県営ほ場整備事業

は、国における事業採択までに最低2年から3年の準備期間が必要である。採択の前提となる調査が平成26年度までに終了していること、今回の事業は放射能物質汚染対策からの復興事業であり平成32年度までの期間限定で本年中の国への申請が必要なことなどから、今回の事業に再度光明寺地区を加えることは不可能であり、現段階で新たに説明会を開催する予定はない。



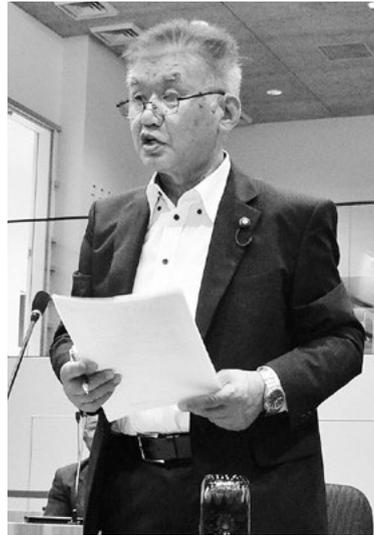
井砂善榮議員



藤田駅前の観光案内看板

**Q** 歴史を活かしたまちづくりを継承していくための取り組みは

**A** 計画期間の10年間で歴史公園の整備や人材育成などに取り組む



阿部泰藏議員

**企画情報** 課長 報発信扱  
計画の情

点として位置づけている道の駅への補助率が40%から45%にかさ上げされ、文化遺産の記録保存や調査などに文化庁の補助が採択された。

**問** 町歴史的風致維持向上計画について、計画の策定に至った経緯は。

**町長** 歴史的風致維持向上計画は、

単に東日本大震災前  
の状態に戻すのではな  
く、これを機に新しい  
町を再生し、国見の未

来をみんなでつくり、町の歴史や伝統を末永く維持発展させるために策定し、国から認定をいただいた。

**問** 計画の認定を受けたことでの町事業へのメリットは。

最大のメリットは策定を通じて町には様々な「たからもの」があることが共有できたこと。

**問** 今まで景観保  
全に対して住宅  
の売買や改築の基準が  
なかった。

計画を達成するため  
に基準を設ける考えは  
あるのか。

**企画情報** 課長 町並みも町民共有の財産と考えており、後世に伝えるための景観計画の策定もしている。

町並みは文化であることの啓蒙啓発と趣旨の理解へ向け取り組んでいきたい。

**問** 歴史的財産としての古民家の建て替えやリフォームには助成はあるのか。

**企画情報** 課長 10年間の計画の中で、該当する建物の数や修繕の頻度を踏まえての検討を行う。

旧大木戸小学校の歴史文化の収蔵・保管・展示施設としての整備について、施設面積や整備費、案内人についてはどうなっているのか。

**企画情報** 課長 旧大木戸小学校について「歴史」をキーワードに文化財の保存展示と情報発信の機能、交流の場としての機能を盛り込み、平成26年度に実施設計を完了した。

改修面積は1階部分の350㎡、整備の費用は5000万円と見込んでいます。財源は歴史まちづくり計画の環境で文化庁の補助を受け、管理運営については今後具体的に検討を進める。

**問** 歴史や歴史的  
芸能を活かした  
まちづくりを地域で守  
り後世に継承すること  
が我々の果たす役割だ  
と思う。

町としての今後の取  
り組みを伺う。

**町長** 今年度から計  
画期間の10年間

の中で国や県の支援も受けながら様々な事業に取り組み。

ハード事業では、特に下二重堀地区では防塁と中尊寺蓮など歴史公園として整備を図ることとしている。

ソフト事業では、無形民俗文化財の学術的な記録・保存、調査事業の実施、教育委員会と連携して歴史読本の副教材の作成、道の駅を核とする交流の場の歴史情報コーナーでの歴史の案内人や歴史観光ガイドの育成にも取り組む。



文化財に触れて歴史探検  
(国見小6年生)



# Q 県北流域下水道施設の汚泥流出可能性への対策は

## A 今後も対策や緊急時の体制を講じるよう求める



村上正勝議員

**問** 県北流域下水道施設敷地内に堆積している下水汚泥は現在どの程度の搬出量か。

搬出が始まり、26日までにドラム缶1115本分、70・6トンほどが搬出され、乾燥前の重量で約446トンの汚泥が処理された。

**課長** 上下水道 汚泥の減容化が

始まるまで約2万5080トン保管されていた。6月1日から場外

**問** 県北流域下水道施設は低地に

造られており、大雨のときの浸水で汚泥が流

れ出す恐れがある。その対策は。

**課長** 上下水道 県からは施設内の雨水排水対策として毎分80トンの排水能力のあるポンプを2台設置しているとの報告がある。

町としても今後も引き続き万全な対策並びに緊急時の体制を講じるよう求めていく。

### 町の人口減少への対策は

**問** 町の人口の減少が進んでいる

が、町として具体的な対策はあるのか。

### 町長

現在、町の人口は9400人程度と毎年減少している。高齢化率が35%を超え、14歳以下の年少人口も減少し続けており、町としても非常に重要な課題と認識している。

魅力あるまちづくりのための元気活力事業の実施や、少子化対策としての放課後児童クラブや預かり保育の

時間延長、婚活事業に対する支援などを行ってきた。今後、国見型のより効果的な人口減少、少子高齢化に対する具体策を検討したい。

**問** 空き家対策を兼ねて都市部からの人口の流入を図るなど、国見に住みたい

と思われるまちづくりへの具体的な施策があるか伺う。

### 町長

空き家対策については昨年の実態調査でベースができた。検討委員会が立ち上がり7月から有識者会議も開かれていくので、具体的な議論は

これから行っていく。

いかに産業振興や地域づくりに活かすかが町に課せられた重要な課題である。地域振興の観点からしっかりと対応していきたい。

### 観光促進への取り組みは

**問** 国見サービスエリア下の阿津賀志山防塁を眺める施設の整備を行う予定はあるか。

阿津賀志山防塁の保存活用については、現在行っている発掘調査を踏まえた上で、周辺環境を含めて一体的な整備を推進することになっている。質問の国道4号線北側の地区でも、今後ガイダンス広場などの整備をしたいと考えている。



県北浄化センターで汚泥乾燥施設の説明を受ける議員

# Q 生活環境の変化に対応できる保育を

## A 待機児童ゼロを維持し保育の充実を図る

今後の子育て支援をどのように展開していくのか。

### 教育長

平成27年  
3月に「国見

町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、

### 問

保育所の利用者で育児休業取得中の方の利用は引き続き可能なのか。

保育所の利用者で育児休業取得中の方の利用は引き続き利用できる。

### 問

#### 幼児教育課 長

育児休業中であっても、保護者の健康状態や子どもの発育上環境の変化が望ましくない

子どもは親と一緒に生活するのが一番幸せであるとの考えもあるが、生活環境も変化しその考え方も変えるべきだと思う。

その点についての考えを伺う。

### 教育長

子どもは親と生活することが大切であり保護者が子育ての第一義的責任を有することに変わりはないが、状況の変化があることも確か。町では待機児童ゼロを維持するなど保育の充実を図っている。

### 問

現状の保育で満足度をアップさせることが大切である。

現状の保育で満足度をアップさせることが大切である。



元気な歌のプレゼント  
(保育所・デイサービスセンター交流)

生活の実態や意向を把握し、適切なサービス提供につなげて支援に努めていきたい。

## 法改正で介護待機者が増えるのでは

### 問

介護保険法の改正により、施設に入れない介護待機者が増えるのではないのか。

#### 保健福祉課 長

介護保険で、特別養護老人ホームには原則として要介護3以上の方のみが入所となった。在宅で介護を受ける重度の入所待機者が多数いるため、優先的に入所できるような見直しがあったため、待機者が増えることにはならないと考えている。

### 問

民間施設など積極的に誘致して早めに状況を打開すべきと考えるが、今後の展開は。

#### 町長

民間施設の導入では、地域密着型の認知症対応グループホームと特別養護老人ホームを1か所ずつ整備し、平成29年度に開業する計画がある。事業を行う民間の社会福祉法人などをこの夏までに公募したい。また、介護予防目的の「元気まつり」や小坂くらし館での健康づくりを実施している。既存の事業を効果的に実施し、地域包括ケアへの積極的な対応、道の駅を核とした交流の場でのコミュニティビジネスの創設など、高齢者がいきいきと暮らせるやさしい町づくりを進めていきたい。



渡辺勝弘議員

## Q 一貫校教育を進めることでの影響は

## A 心の成長などに懸念される影響は生じない



浅野富男議員

**問** 一貫校教育の方針が導入された理由は。

**教育長** 保育所から中学校まで見通しを持ち地域ぐるみで一貫した教育を推進することで、心豊かでたくましい子どもを育てようという町ならではのの一貫教育をスタートさせた。

一貫校教育の教育ビジョンには、

コミュニケーション制度と保幼小中一貫教育の推進の2つの柱を示している。町では、「めざす子ども像」を共有しながら国見型の連携一貫教育をさらに進めていきたい。

**問** すべての子どもたちに教育の平等な機会が与えられる

ことではないか。

ることが教育基本方針と考えるが、このことは担保されているのか。

**教育長**

町の幼小中一貫教育

の推進にあたっては、全国的な教育水準を維持するとともに、教育の機会均等を担保しながら進めていくものである。

**問**

発達心理学の視点から、やればできるといった自己有能感が育つ時期の成長が一貫校のほうが劣るとい調査結果がある。

一貫校教育を進めることで影響が生じることはないか。

**教育長**

教育は知識だけでなく体の健全な成長や心の成長を図ることが大切。自己有能感は段階に応じて達成感や充実感を味わえるような活動を体験させることで得られるものと考えており、懸念されている影響は生じないと考えている。

**問**

今後、児童生徒が少なくなる一貫校を進めることと予想される。

**問**

公共施設の除去に留め置かれ埋設や野積みの状態で残っている。今後の処理方法は。

## 公共施設の除去 土壌の処理方法は

**教育長**

このまま単独校として存続する。

**町長**

国が設置する中間貯蔵施設に直接搬入することとしているが、今年度実施のパイロット輸送の中でも中間貯蔵施設への搬出を検討していく。

また、町設置の10か所の仮置き場への搬入状況も十分に見極めながら、仮置き場への搬入が可能かどうか併せて検討していきたい。

**問**

時間の経過とともにフレコンバッグは劣化が進むと思うがどのように処理するのか。

**原発災害 対策課長**

フレコンバッグは5年程度の保管を考慮して輸送などにも耐え得る強度・防水性のあるものである。輸送の際に状態については十分に確認していく。



野積みそのままになっている除去土壌



町の振興発展に向け、議員も一致団結

## 積極的な議員活動で 自治体の振興発展を

### 伊達郡町議会議員大会

7月17日、桑折町、川俣町、国見町の伊達郡内3町の議会議員による第10回伊達郡町議会議員大会が「おじまふるさと交流館」(旧川俣町立小島小学校)で開催されました。

大会では、国、県等関係機関へ提出する要望事項7件について審議しました。3町共同提出要望事項として、「有害鳥獣対策の強化」、本町議会からは桑折町議会との共同提案も含め、「藤田

病院の医師確保」「国道4号の整備促進と立体横断施設の設置並びに県道の歩道設置」「普蔵川、滝川、牛沢川の改修促進」を提出し、すべて原案どおり可決されました。

また、「東日本大震災及び原子力発電所事故被害から一日も早い復旧・復興の推進」他8事項の早期実現を期する決議、「集中復興期間後の復興財源を確実に確保するとともに、現行制度及び特例的財政支援措置を継続すること」など9事項に

関し特段の措置を講じるよう強く要請する「東京電力福島第一原子力発電所事故に関する特別決議」が可決されました。今後関係機関に強く要望していきます。

続いて、「人口減少問題」と「地方創生」を考えるための視点」と題して、NPO法人ローカル・グラントデ

ザイン理事、坂本誠氏の講演をいただきました。

講演の内容は、これからのまちづくりには、人口を増やすことよりも地域の多様な人材を生かし、地域に「誇り」と「愛着」を持てる地域づくりが大切であるということでした。

(報告者 松浦常雄)

### 一部事務組合報告

#### ※一部事務組合とは

複数の市町村などで行政サービスの一部を共同で行うために設置する組織

### アスベスト除去

#### 工事費を増額

### 伊達地方消防組合議会

7月6日、伊達地方消防組合議会第1回臨時会が開催されました。庁舎解体によるアスベスト調査で判明したアスベスト除去にとも

## 住民全体の代表として の意識を持つ

### 新人議員研修会

7月2日、県町村議会議長会主催の新人議員研修会が福島市の杉妻会館で開催され、町議会からは松浦和

なう工事費を1600万円増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ24億6900万円とす平成27年度一般会計補正予算が審議され、原案のとおり可決しました。

(報告者 渡辺勝弘)

### 議長に東海林一樹 議員を選出

### 藤田病院組合議会

7月15日、公立藤田病院組合議会臨時会が開催され、議長に東海林一樹議員が選出されました。

(報告者 佐藤定男)

子議員と村上一議員が参加しました。

研修では、地方自治法の解説、議員の心構えと議会運営について学びました。

我々新人議員にとっては有意義な研修会であり、「議員は住民全体の代表である」が基本であると思います。

(報告者 村上 一)



# 「議員の日頃の活動を 知りたい」など

議会基本条例に基づき、4月23日から25日まで町内5会場で議会報告懇談会を開催し、54人が参加して意見交換を行いました。

おもな内容は次のとおりです。

## 議会への意見・要望

### 【議会報告会】

常任委員会の活動を報告しては

### 問

議会の報告は議会だよりで町民は周知しているので、常任委員会などのような活動をしているかや研修報告などの場にはどうか。

### 議員

議員が常任委員会などのような活動をしているのか町民は知らないと思うので、委員会での視察の内容や活動も報告できるように検討する。

## 報告懇談会の開催 時間の検討を

### 問

藤田地区以外の報告懇談会は夕方開催しているが、藤田も夕方開催を検討してはどうか。

### 議員

若い方にも参加してもらえよう、休日の昼間に設定したが、再度検討する。なお、都合の良い日にどの説明会に参加してもかまわないことになっている。

## 【町との連携】

## 町の会議や委員会の内容は把握しているのか

### 問

町で行われている会議や委員会の内容は議員は把握しているのか。要望を出しても一度しか議題に上がらなかつたりするので把握してほしい。

### 議員

会議や委員会は町は町、議会は議会では



行っているのですが、全部は把握していない。

## 【議会の体制】

## 議員定数の再検討を

### 問

議員定数について、人口1000人に対して1人くらいかと思っ

### 議員

ているのだが、どう考えているのか。議員定数については議会でも検討します。

## 町内会長と議員の 兼務はおかしいのでは

### 問

町内会長と議員を兼務はおかしいのではないか。

### 議員

法的な問題はないが、執行者の委嘱状

を受ける町内会長とチェック機能を有する議員が兼務するのはどうかという考えはある。しかし、各町内会の考え方や状況もバラバラでそれぞれの事情もご理解いただきたい。現状は、町内会長は引き受けても本部役員にはならないという形でやっている。

## 【生活】

## 町内会の要望に耳を傾けてほしい

●町内会ごとの要望がかなり出ているが、優先順位があり長年放っておかれているところもある。町内会の要望にもっと耳を傾けてもらえるよう議員にも力を貸してほしい。





**町への意見・要望**

町に対しても議員から伝えてほしい意見・要望を多数いただきました。内容を議会で協議し町にお伝えしました。おもなものをご報告します。

**【職員駐車場】**

**有料化の予定は**

●町営住宅でも駐車場料金

を取っているが、役場職員の駐車場も有料にしても良いのでは。

**【小坂くらし館】**

**地元にも同じような施設が欲しい**

**問** 小坂くらし館を見本に地元と同じような施設を作りたい場合どうすれば良いのか。

**議員**

小坂くらし館は旧小学校の活用を考えたもの。運営委員会を立

ち上げて運営している。まずは地元議員を通して町に話してみてもどうか。

**最低限の予算を付けて**

●小坂くらし館はハード面は整備されたが、ソフト面(消耗品など)の予算がないので、最低限の予算は付けてほしい。

**【まちづくり】**

**観光資源の周辺整備を**

●中尊寺蓮池、岩淵遺跡は道路拡張や駐車場、トイレの整備を進めてほしい。

**6次化にもっと予算を**

●町民にとって一番大事な6次化の予算が非常に少ない。町の振興にはやっぱり農業だと思っ。

**【防災関連】**

**防災無線の利用範囲の拡大を希望**

●小学生の下校時に雷がひどくスクールバスが遅れたことがあった。迎えに行く者に遅れが伝わらないので、防災に関する情報として防



災無線で放送してほしい。

**生ごみの放置対策を**

●捨てられた生ごみなどがそのままになっているところがある。改善されないので、防犯カメラを設置するなど良い方法を考えてほしい。

**危険な場所の改修に**

**予算を付けて**

●危険箇所改修の予算が年間10万円では全地区改修するのに少ないと思っ。

**【教育関係】**

**一貫教育の中で**

**先生方の意見交換を**

●一貫教育を取り入れ学力

が一番の福井県では小中学校の先生の間で積極的に意見交換をしている。町でもぜひ取り組み、学力が向上すれば素晴らしいことだと思う。

**【設備】**

**文化センターに**

**カラオケの導入を**

●観月台文化センターの改修時にカラオケ設備を希望する。全部町が負担せず、利用料を取れば良いと思っ。

\*町民の皆さま、ご参加をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

**開催地区と参加者数**

4月23日	小坂	27人
	大枝	8人
4月24日	森江野	13人
	大木戸	4人
4月25日	藤田	2人

議会議員に期待を寄せて

我が国見町は、町村合併のモデルとして管内に先がけて合併し60周年を迎え、着実な町政の発展とあわせ、県下に誇る町の振興のシンボルとしての「新庁舎」が立派に完成されましたことは、この上ない慶びであります。

この度、九千有余の町民の代表として衆望を担って選ばれました12名の新町議会議員の皆様に対して、衷心より敬意とお祝いを申し上げます。

合併当時議員86名、以来3回定数減を行い、平成19年4月少数精鋭の12名に改め、その英断は共感を呼び今日に至っております。

僭越ながら昭和42年5月、公民館報「くにみ」の記事「議

会に新風を」の一部をご紹介します。

◇新議員は、議会に新風を送り込むことで、マンネリズムになりやすい議会の空気に清新さを与えることは、新議員に課せられた第一の要件である。

◇「初心忘るべからず」の心構えです。

◇議員は、町民の代表者であって代理者ではない。議員の発言と行動は、多くの町民の共鳴と諒解を得るものであり、また大衆の負担に應えるものでなければならぬ。

町から歴史まちづくり・道の駅（交流の場）をはじめ、明るいニュースが聞こえ、安心安全な町・夢と希望の持てる活力ある住みよいまちづくりが期待されます。

町と相携えて、他町村から注目の国見町のさらなる発展のため、ご活躍くださいますようお願い申し上げます、私の拙い文を終わります。



渡邊 等

(宮東町内会)

議会の動き

6月23日 ～7月3日	6月議会定例会
6月25日	町街路灯管理委員会第50回通常総会
6月28日	第2回国見町に咲く中尊寺蓮を観る会開花式
7月1日	川俣町庁舎建設特別委員会来庁
7月2日	新人議員研修会(福島市)
7月3日	広報常任委員会、自衛隊協会創立20周年記念式典・祝賀会
7月4日	くにみ市場、くにみ元気まつり(オープンセレモニー)
7月6日	伊達市消防組合議会全員協議会・臨時会
7月9日	伊達郡正副議長局長会議(福島市)
7月13日	自衛隊国見町父兄会総会
7月14日	広報常任委員会
7月15日	町交通対策協議会、公立藤田病院組合議会全員協議会・臨時会
7月17日	伊達郡町議会議員大会(川俣町)
7月18日	上野台運動公園プールオープニングセレモニー 森江野夏祭り
7月21日	議員懇談会、広報常任委員会
7月24日	広報常任委員会
7月31日	議会運営委員会、全員協議会 第4回議会臨時会、広報常任委員会
8月3日	正副議長・事務局長研修会(福島市)



7月1日、川俣町議会庁舎建設特別委員会の皆様が発場新庁舎を視察に来庁されました。庁舎内のレイアウトや使用した材質など熱心に質問されていました。



広報常任委員会  
委員長 渡邊 勝弘  
副委員長 佐藤 定男  
委員 浅野 富男  
阿部 泰藏  
松浦 常雄  
村上 一

3・11大震災によって壊れた役場庁舎も新しくなり5月7日から業務を開始しました。そのもとで一般選挙が行われ議会の組織も改められました。編集委員会のあり方もこれまでとは例外的な扱いでしたが、今後は委員会条例に規定された常任委員会としての位置づけとなり議員活動の一部になりました。議会だよりの発行に重責のある委員会ですが各地の議会を視察する中では、多くの時間をかけて編集している委員会もあること等から明確な位置づけが必要との結論になったものです。議会だよりは議会活動を逐一町民の皆さんにお知らせする大事な広報ですが、編集の仕方も常に変化しています。研鑽を重ね時代に即した紙面づくりを心がけます。(浅野 富男)